

平成29年4月25日
セプターカウンシル

セプターカウンシル総会第9回会合の開催について

重要インフラの情報セキュリティ対策の向上を図るため、重要インフラ各分野のセプターが連携して情報共有を行うセプターカウンシルの総会第9回会合を開催しました。

入会を希望するセプター、2016年度の活動報告概要及び2017年度の活動計画概要は、以下の通りです。

I 入会を希望するセプターについて

セプターカウンシルへの入会を希望していた鉄道 CEPTOAR の入会が、総会の総意により認められた。

II 2016年度の活動報告概要について

1. 活動概要

設置要綱「2. 活動」及び重要インフラの情報セキュリティ対策に係る第3次行動計画に基づき、運営委員会及びワーキンググループにおいて以下の活動に取り組んだ。

(1) 「情報共有体制の強化」に関する施策への取組

- セプターカウンシルで構築した情報共有の体制・仕組みを運用しつつ、新たな共有情報及びその共有方法の整理に取り組んだ。
- ベストプラクティス等の事例紹介により、情報共有の拡充を図るとともに、各セプターでの活動状況や情報セキュリティ対策への取組体制、ITの利用状況の情報共有を行い、相互理解の促進を図った。
- 各セプターにおける情報セキュリティへの意識向上と対策強化に資することを目的に、環境変化に迅速に対応すべく関係機関やオプザーバ機関等との意見交換等を行った。
- 情報セキュリティ技術動向や国内外の動向等、情報セキュリティ対策の強化に資する情報の収集及び知見の共有等に取り組んだ。

(2) 「障害対応体制の強化」に関する施策への取組

- 分野横断的演習（NISC主催）等の機会を活用し、情報共有体制の検証を実施した。

(3) カウンシル活動を継続・発展させるための取組

- セプター間の情報共有の一層の充実等、重要インフラ事業者等の活動の更なる活性化を促進するための活動を企画・立案し、実施した。
- カウンシルの場を利用して分野間で注意喚起展開や互助活動を実施した。

2. 運営委員会の活動

カウンシルの総合的な企画調整・運営を担い、カウンシル全体としての活動を検討するとともに、重要インフラ事業者等の情報セキュリティ対策の向上に向けた情報共有体制について検討を行った。

- 延べ4回の会合を開催した。
- 運営委員会では毎回、出席者（各分野の幹事、オブザーバ、所管省庁、NISC）の間で、直近の活動等のトピックに関する情報交換を実施し、事業継続の上で重要なステークホルダーの動向を把握した。
- セプターカウンシルの取組の一環として、各セプターがNISC主催の分野横断的演習へ参加した。

3. 企画運営WGの活動

セプターカウンシルの設立趣旨を踏まえ、官民連携体制および役割分担等の再確認を一昨年度にカウンシルメンバーとの議論を通じて行ない、カウンシルの自律的な運営体制とそれによる更なる活性化にむけた活動計画の企画立案を行った。昨年度はそれを実行し、円滑な自律的運営体制を開始するための取組みを行った。

- 総会準備WG、総会や運営委員会などで議事進行・検討事項に関する助言等を適宜行った。
- 本総会での基調講演を企画提案し、講演者調整を行った。
- 「セプターカウンシルにおける標的型攻撃に関する情報共有体制（G4TAP）」のオペレーションの移管を予定通り終了し運用開始した。
- カウンシルメンバーの情報収集機会を増やすため、(JPCERTが別途開催する) 他の情報共有会にカウンシル参加枠を設定し開催案内するなどの便宜を図った。
- 鉄道 CEPTOAR がセプターカウンシルへ入会するにあたり、鉄道 CEPTOAR 事務局に対しセプターカウンシル活動全般の概要説明および情報・意見交換を実施し参加に向けた導入支援を行った。

4. 相互理解WGの活動

セプター、重要インフラ事業者等間の相互理解の促進や信頼関係の深化を図ることを目的に、各セプターでの活動状況、情報セキュリティ対策への取

組体制及びITの利用状況等について情報共有を行った。

- 延べ4回の会合を開催した。
- 各セクターにおけるIT活用の現場や情報共有に関する取組等について、相互訪問し現場担当者を交え意見交換を実施した。
- 本WGの活動を円滑に行うことを目的として、2019年度初めまでの当番セクター（訪問先等）を策定した。
- 現場見学に加え、座学や当該事業者等における取組状況に関する議論によって、相互理解を深めた。

5. 情報共有WGの活動

セクターカウンシル構成員にとってより有益な情報を提供することを目的に、さらに改善すべき点について検討を行うとともに、情報セキュリティ対策上有益な他の情報について、情報共有に当たっての課題を整理しながら更なる情報共有の充実を図った。

- 「セクターカウンシルにおける標的型攻撃に関する情報共有体制（C4TAP）」を引き続き運用し、他の情報共有体制との連携を図りながら情報共有を行った。
- 「Webサイト応答時間計測システム」を引き続き運用し情報共有を行った。

6. 情報収集WGの活動

情報セキュリティ対策の強化に参考となる先駆的な活動に関する情報や国内外の動向等を収集し、セクターカウンシルの運営活動に資するとともに、参加セクターでの知見の共有を図った。

- 延べ4回の会合を開催した。
- 環境変化、IT化の進展及び将来的な動向等を踏まえて、情報セキュリティ対策を中心に重点的に取り組んでいるテーマ等を、各セクターが輪番で発表を行い、カウンシルの自主性・持続性を高めつつ、知見を共有した。

7. 総会準備WGの活動

セクターカウンシル総会の準備事務局として、総会の開催に向けた準備を行った。

- 延べ3回の会合を開催した。
- 総会の開催に関する具体的な検討、準備、各種調整等を行った。

Ⅲ 2017年度の活動計画概要について

1. 設置要綱「2. 活動」に記載した活動

分野横断的な情報共有の推進を図るために、IT障害の未然防止の観点から相互理解及びベストプラクティス等具体的な事例の情報共有のため、次の施策に自主的に取り組む。

(1)「情報共有体制の強化」に関する施策への取組

- セプターカOUNシルで構築した情報共有の体制・仕組みを運用しつつ、新たな共有情報及びその共有方法の整理に取り組む。
- ベストプラクティス等の事例紹介により、情報共有の拡充を図る。また、各セプターでの活動状況や情報セキュリティ対策への取組体制、ITの利用状況等の情報共有を行い、相互理解の促進を図る。
- 各セプターにおける情報セキュリティへの意識向上に資することを目的に、環境変化に迅速に対応すべく関係機関やオブザーバ機関等との意見交換等を行う。
- 情報セキュリティ技術動向や国内外の施策動向等、情報セキュリティ対策の強化に資する情報の収集及び知見の共有等に取り組む。

(2)「障害対応体制の強化」に関する施策への取組

- 必要に応じて、分野横断的演習（NISC主催）等の機会を活用して、情報共有体制の検証を実施する。

2. カOUNシル活動を継続・発展させるためのその他の活動

サイバーセキュリティ基本法及び重要インフラの情報セキュリティ対策に係る第4次行動計画に基づき、情報共有を基本として、一層の能力向上を目指した運営に関する継続的改善に取り組む。

- セプター間の情報共有の一層の充実等、重要インフラ事業者等の活動の更なる活性化を促進するための活動を企画・立案し、実施する。
- 「セプターカOUNシルにおける標的型攻撃に関する情報共有体制（G4TAP）」の活性化に向けて、量的拡充と質的充実の両面から取組を企画・立案し、実施する。
- 報告会等の開催等セプターカOUNシル全体としての活動を実施する。
- 重要インフラの全ての分野から本カOUNシルの構成員として加われるよう、引き続き働きかけを行う。
- その他セプターカOUNシルの目的を達成するために運営委員会が必要と認める事項を実施する。

【お問い合わせ先】

内閣サイバーセキュリティセンター

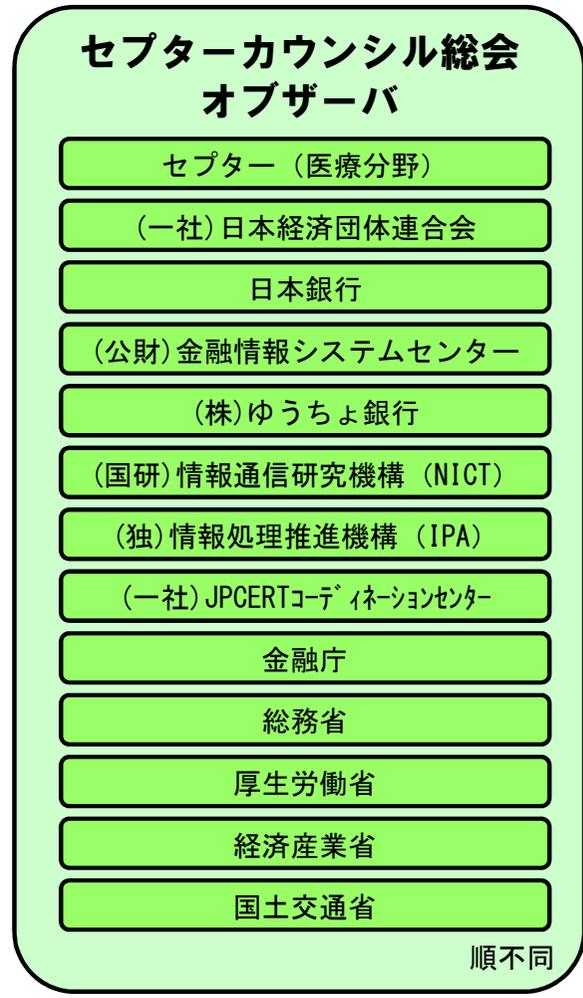
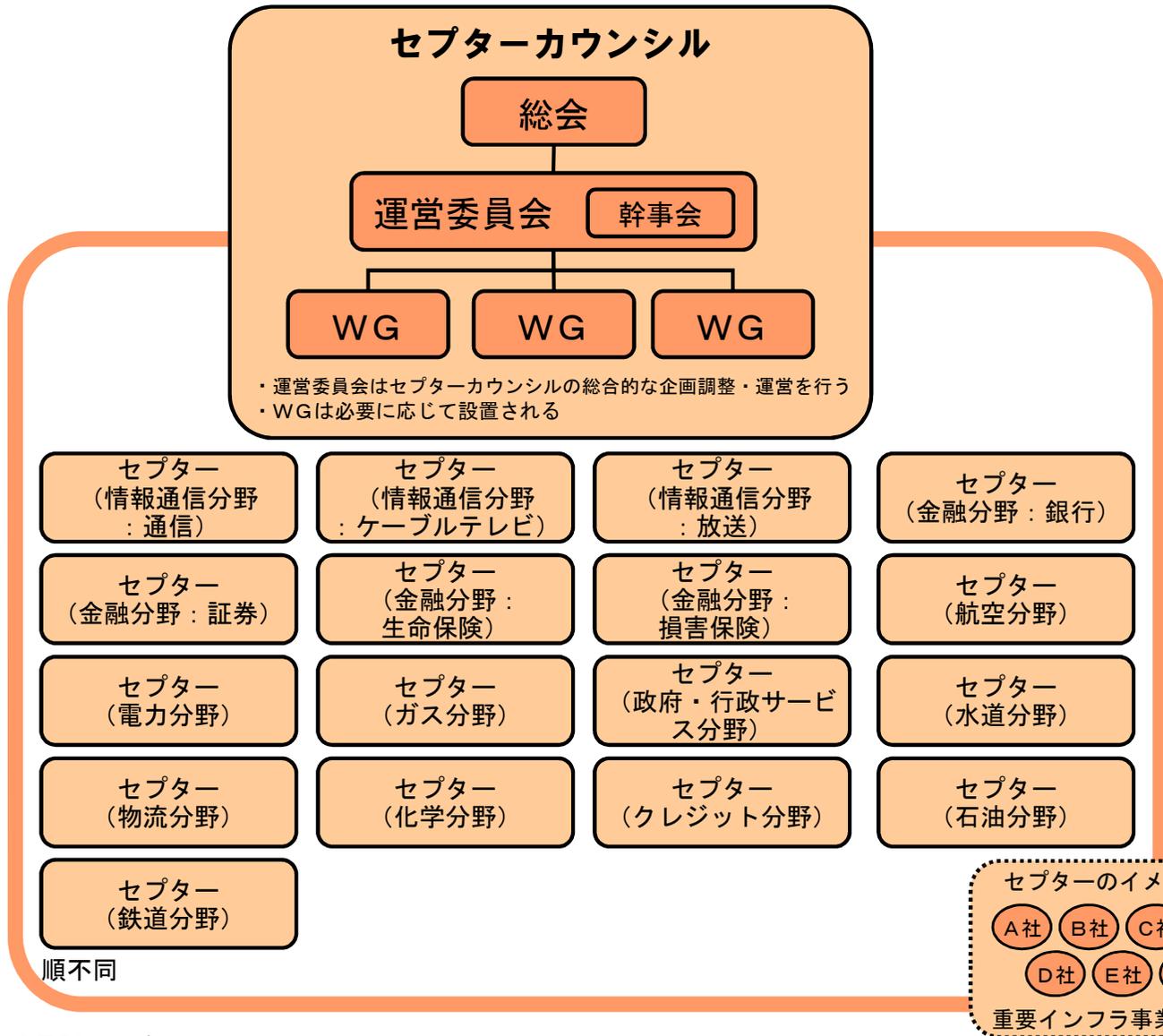
電話：03-3581-3957

メール：CEPTOAR-Council@cyber.go.jp

※セプターカOUNシルへのお問い合わせは内閣サイバーセキュリティセンターまでお願いします。

各セプターでは対応をいたしかねますので、御注意ください。

セプターカウンシルの概要 (2017年4月25日現在)



- ・ 2009年2月26日に創設。
- ・ 2012年4月12日に開催された総会（第4回）より、ケーブルテレビCEPTOAR、ゆうちょ銀行、情報通信研究機構、情報処理推進機構、JPCERTコーディネーションセンターがオブザーバとして加盟。
- ・ 2013年4月9日に開催された総会（第5回）より、ケーブルテレビCEPTOARが正式に参加。
- ・ 2014年4月8日に開催された総会（第6回）より、化学CEPTOAR、クレジットCEPTOAR及び石油CEPTOARが正式に参加。
- ・ 2017年4月25日に開催された総会（第9回）より、鉄道CEPTOARが正式に参加。

セプターカウンシルを構成するセプターの代表者一覧

(2017年4月25日現在)

| セプター名 | | 所属 | 氏名 |
|-----------------|----------------|-----------------------------------|---------------------------------------|
| 情報通信 | T-CEPTOAR | 一般社団法人ICT-ISAC 理事長 | 齊藤 忠夫 |
| | ケーブルテレビCEPTOAR | 一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟 理事・事務局長 | 森田 昌克 |
| | 放送CEPTOAR | 一般社団法人日本民間放送連盟 常務理事 | 青木 隆典 |
| 金融 | 銀行等CEPTOAR | 株式会社三井住友銀行 取締役専務執行役員 | 谷崎 勝教 |
| | 証券CEPTOAR | 日本証券業協会 常務執行役 管理本部共同本部長 (CIO兼CRO) | 北村 伸司 |
| | 生命保険CEPTOAR | 一般社団法人生命保険協会 情報システム委員長 | 篠原 秀典 (住友生命保険相互会社 執行役専務) |
| | 損害保険CEPTOAR | 一般社団法人日本損害保険協会 常務理事 | 深田 一政 |
| 航空分野におけるCEPTOAR | | 定期航空協会 IT専門委員代表 | 小山 英之 日本航空(株) IT企画本部 IT運営企画部 部長 |
| 電力CEPTOAR | | 電力ISAC事務局長 | 阿部 克之 |
| GAS CEPTOAR | | 一般社団法人日本ガス協会 常務理事 | 多田 進一 |
| 自治体CEPTOAR | | 地方公共団体情報システム機構 情報化支援戦略部 部長 | 菅原 泰治 |
| 水道CEPTOAR | | 公益社団法人日本水道協会 理事長 | 吉田 永 |
| 物流CEPTOAR | | 一般社団法人日本物流団体連合会 理事・事務局長 | 村上 敏夫 |
| 化学CEPTOAR | | 石油化学工業協会 総務部長 | 望月 孔昇 |
| クレジットCEPTOAR | | 一般社団法人日本クレジット協会 理事・事務局長 | 與口 真三 |
| 石油CEPTOAR | | 石油連盟 常務理事 | 押尾 信明 |
| 鉄道CEPTOAR | | 一般社団法人日本鉄道電気技術協会 会長 | 杉本 章 |

セプターの概要

| セプター名 | | 事務局 | 構成員数（2017年3月末現在） |
|-----------------|----------------|---------------------------|------------------|
| 情報通信 | T-CEPTOAR | 一般社団法人ICT-ISAC | 23社、1団体 |
| | ケーブルテレビCEPTOAR | 一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟 | 335社、1団体 |
| | 放送CEPTOAR | 一般社団法人日本民間放送連盟、日本放送協会 | 195社、1団体 |
| 金融 | 銀行等CEPTOAR | 一般社団法人全国銀行協会 | 1,428社 |
| | 証券CEPTOAR | 日本証券業協会 | 261社、7機関 |
| | 生命保険CEPTOAR | 一般社団法人生命保険協会 | 41社 |
| | 損害保険CEPTOAR | 一般社団法人日本損害保険協会 | 29社（含むオブザーバ3社） |
| 航空分野におけるCEPTOAR | | 定期航空協会 | 14社、1団体 |
| 電力CEPTOAR | | 電気事業連合会 | 12社、2機関 |
| GAS CEPTOAR | | 一般社団法人日本ガス協会 | 10社 |
| 自治体CEPTOAR | | 地方公共団体情報システム機構 | 47都道府県、1,741市区町村 |
| 水道CEPTOAR | | 公益社団法人日本水道協会 | 8水道事業体 |
| 物流CEPTOAR | | 一般社団法人日本物流団体連合会 | 6団体、16社 |
| 化学CEPTOAR | | 石油化学工業協会 | 13社 |
| クレジットCEPTOAR | | 一般社団法人日本クレジット協会 | 28社 |
| 石油CEPTOAR | | 石油連盟 | 13社 |
| 鉄道CEPTOAR | | 一般社団法人日本鉄道電気技術協会 | 22社、1団体 |
| 医療CEPTOAR ※ | | 厚生労働省 医政局研究開発振興課医療技術情報推進室 | 1グループ、6機関 |

※ オブザーバとして参加